BOSE®

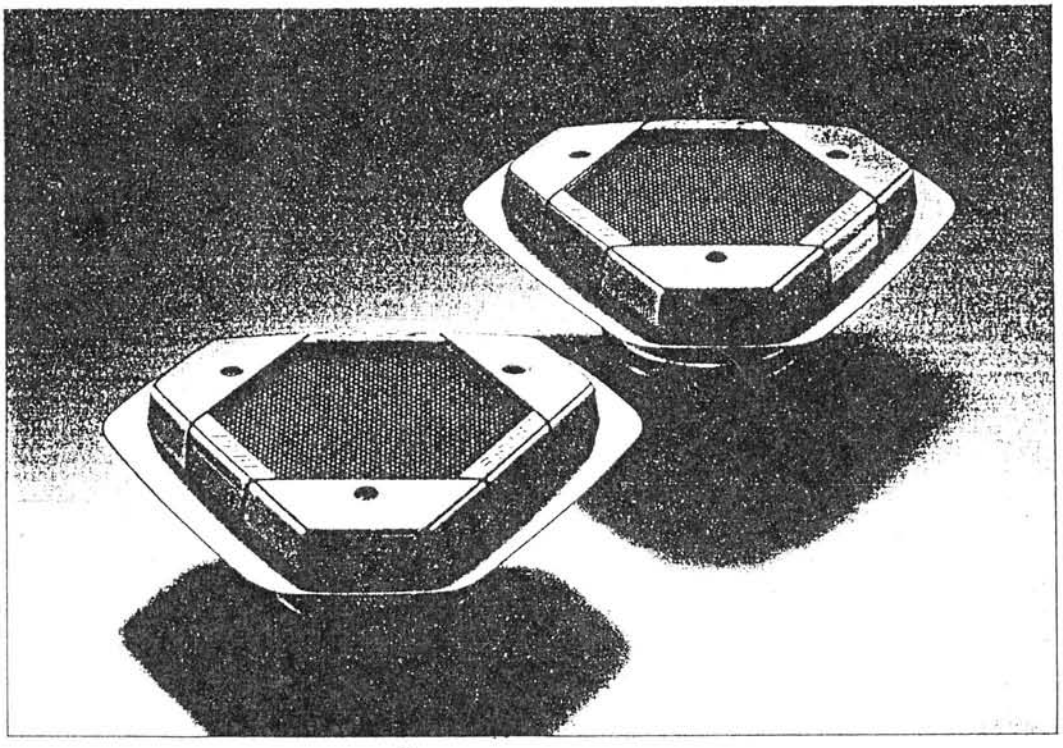
OWNER'S MANUAL

1010

このたびは、BOSEカーステレオスピーカーシステム1010をお買上げいただきまして、ありがとうございました。

1010の機能を十分生かし、正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。説明書は、必要なときにすぐお読みになれるよう、大切に保管することをおすすめします。

ボーズ社では、カーステレオスピーカーシステムの開発にあたり、マサチューセッツ工科大学とボーズの研究から生まれたリスニングロボット〝モーガン〟を採用。この〝モーガン〟が400以上にわたる車種の車内音響を〝試聴〟。そのデータをコンピュータ分析し、最大共通項を算出して、最も理想的な特性をもったスピーカーシステムを創りあげています。メカニカルマルチウェイ方式のモデル1010のユニットは、低域はコーン紙全面で放射、中低域、中高域、高域にいたるにしたがって、振動板の有効口径を小さく動作される独自の方式です。これによりナチュラルに伸びた高域特性を達成しています。市販のあらゆるアンプに接続可能。音質アップ、システムアップに最適です。



内容物および各部の名称

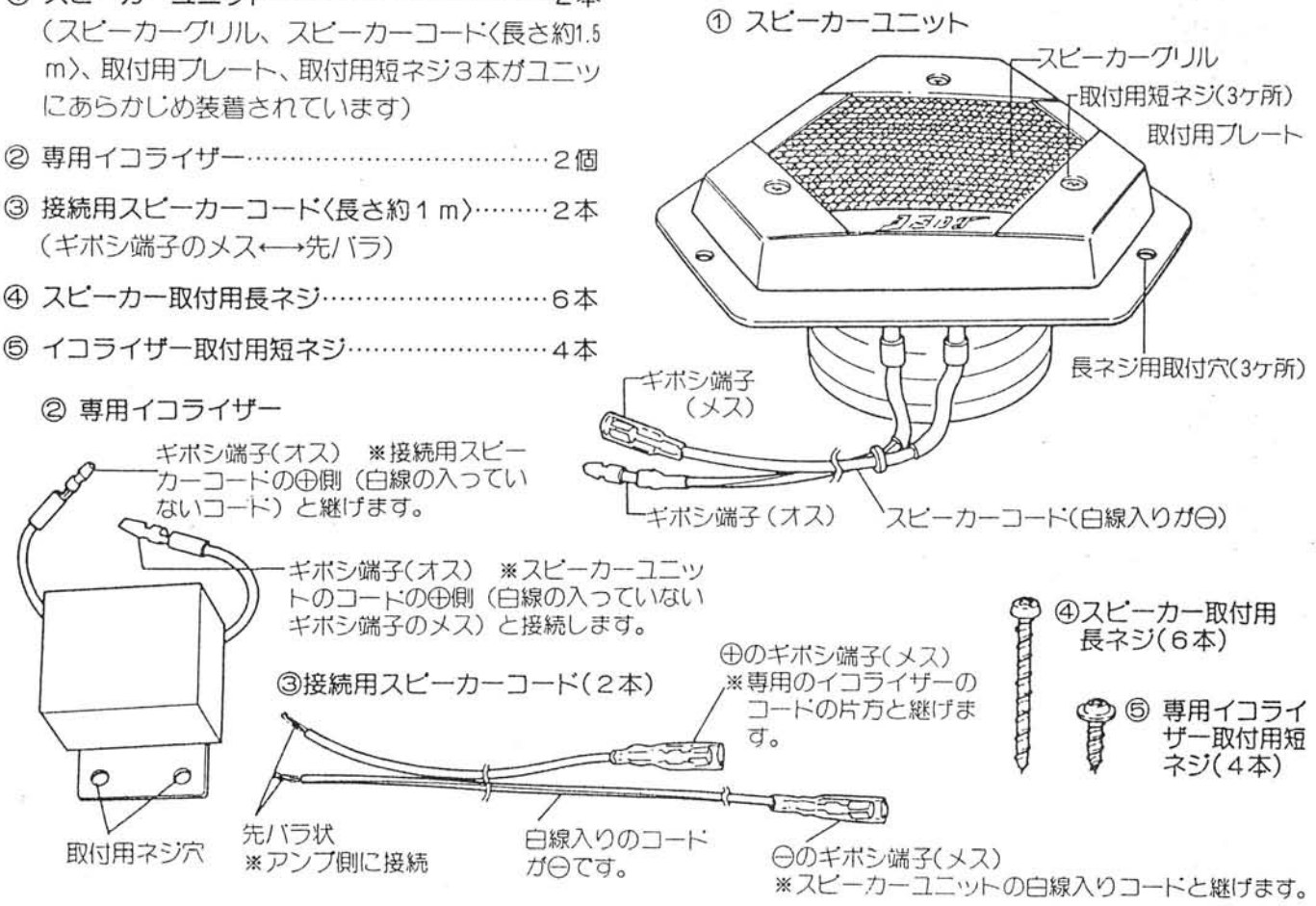
① スピーカーユニット……2本
（スピーカーグリル、スピーカーコード〈長さ約1.5m〉、取付用プレート、取付用短ネジ3本がユニットにあらかじめ装着されています）

② 専用イコライザー……2個

③ 接続用スピーカーコード〈長さ約1m〉……2本
（ギボシ端子のメス←→先バラ）

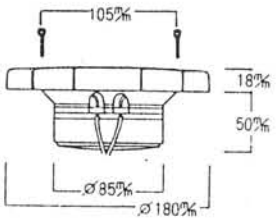
④ スピーカー取付用長ネジ……6本

⑤ イコライザー取付用短ネジ……4本



スピーカーを取付ける前の確認事項と作業手順

■ 1010のサイズは右図のとおりです。



■ 取付穴について

1．新しく穴を開ける場合は直径106㎜の穴を開けます（既存の穴が小さい場合も同様です）。
2．すでに穴が開いている場合で、その穴の直径が150㎜以内であれば、取付用プレートを使用し、そのまま取り付けできます。
3．すでに開いている穴が150㎜以上の場合は、補助板（市販のボード類）を用意し、改めて直径106㎜の穴を開けます。

■ 取付場所について

1．スピーカーを取り付ける場合、最も注意すべき事項が取付場所の選定です。1010のような埋込型のスピーカーは、振動しないしっかりした場所と方法を選ぶことが大切です。

■ スピーカーユニットの埋込み部分について

1．1010は埋込スピーカーのため、マグネット部を埋め込むことができる深さ50㎜以上の取付スペースの確保が必要です。
2．特にフロントドアに取り付ける場合、ウインドガラスの昇降ハンドルにグリルがあたらないか。また、ウインドガラスを全開にした時、ユニットのマグネット部がガラスにあたらないか、十分確認してください。

※別売のＦＳ－10(スペーサー)を使用すると、マグネット部を25㎜底上げすることができます（ただし、グリルとスペーサー部分を合わせた43㎜分が前面に突出することを考慮してください）。

■ 作業手順

1．作業に掛かる前には、アンプおよびヘッドユニットの電源が〝ＯＦＦ〟になっていることを確認してください。
2．スピーカーの取付位置を決め、完全に取付ける前にスピーカーコード、専用イコライザーを配線してみてください。
3．スピーカーコードの先バラ側をアンプ（ヘッドユニット）の出力端子に接続します。
4．この状態で音出しテスト、調整を行ってください〈テスト終了後は必ずアンプの電源を〝ＯＦＦ〟にします〉
5．スピーカーおよび専用イコライザーを所定の位置に取り付けます。

スピーカーの配線

1．専用イコライザーは、スピーカーユニットに接続されているスピーカーコードの⊕側と接続用スピーカーコードの⊕側の間に入れます。

2．スピーカーコードの⊖側（白線入り）と接続用スピーカーコードの⊖側（白線入り）を継ぎます。

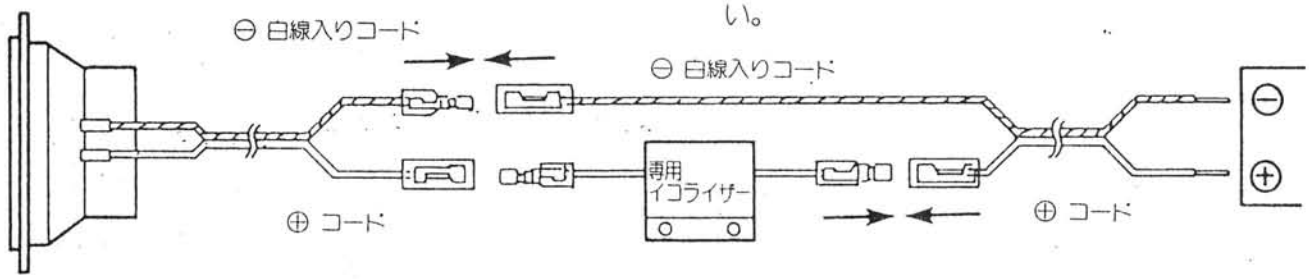
3．接続用スピーカーコードの先バラを、⊕⊖まちがいのないようにアンプの出力端子に接続してください。

接続についての注意事項

■ スピーカーの配線は必ず付属のものを使用してください。長すぎる場合は切らずに適当に束ねて用い、もし足りない場合は付属のコードと同等か、それより太いもの（電気容量の大きいもの）を使用してください。

■ 配線を継ぎ足す場合は、必ずハンダ付をし、完全に絶縁してください。

■ フロントドアに通すスピーカーコードは、長年の使用にも断線や絶縁不良を起こさないよう注意してください。



スピーカーの取り付け

1010は左（L）、右（R）の指定はありません。

■ フロントドアへの取り付け

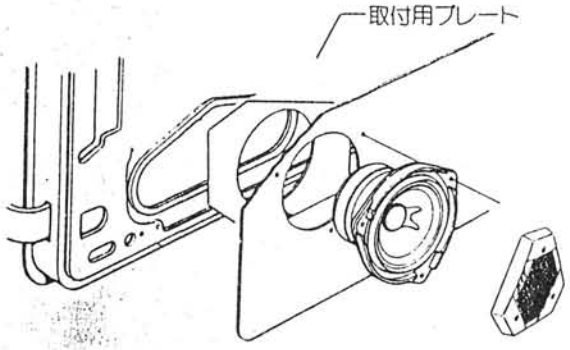
1．既存のスピーカー取付穴もしくは重量軽減孔が直径106㎜～150㎜以内の場合

①この穴（孔）をふさぐため、取付用プレートを用います。このプレートの外側のネジ穴を、市販の皿ビス（5㎜ø）で、しっかり固定します。

②内張を元通り固定し、カッター等により内張に少しずつ切り込みを入れて、穴を開けます。

2．既存の取付穴が直径106㎜より小さい場合

①ドア鉄板の取り付け面に 106 ㎜の穴を開けます。
以下、取付手順は１と同じです。

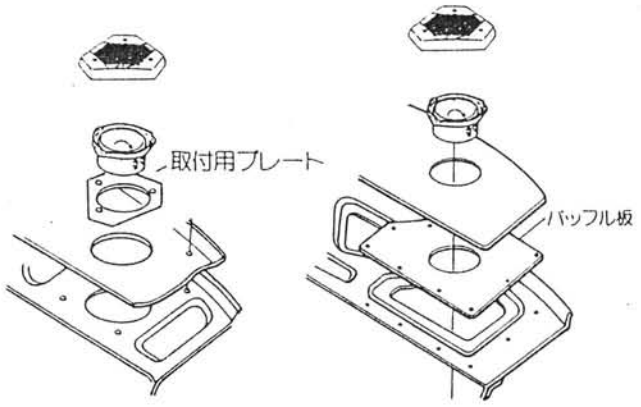


■ リアへの取り付け

1．セダンタイプですでにスピーカー用の穴が開いている場合

直径106㎜～150㎜の穴でしたら付属の取付用プレートを使って取り付けが可能です。

2．セダンタイプで理想的な取り付け位置に大きな重量軽減孔がある場合、この孔をふさぐバッフル板（市販の合板）を作ります。

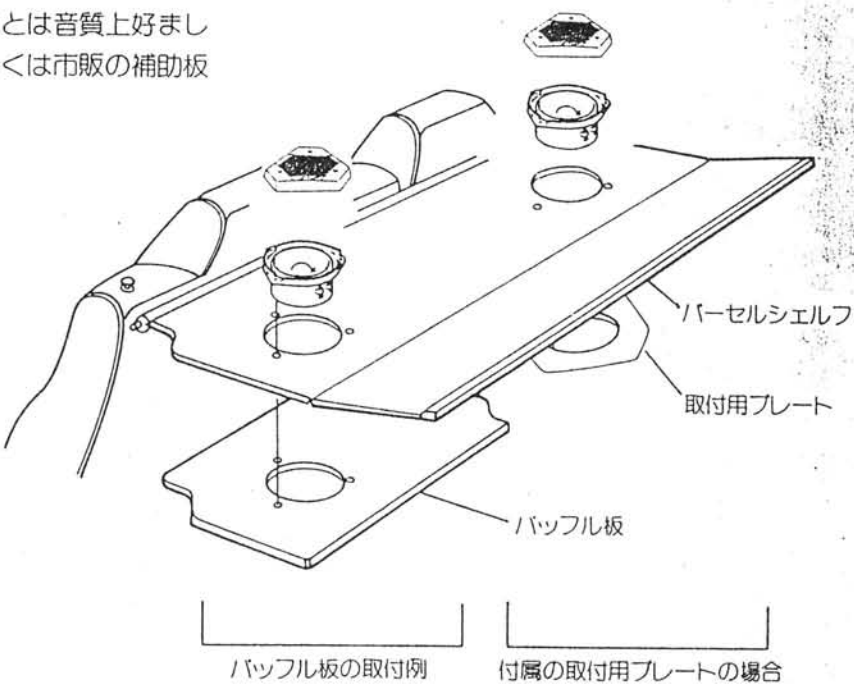


取付穴の直径が106㎜～150㎜以内の場合

取付穴の直径が150㎜以上の場合

3．ハッチバック車の場合

ハッチバックタイプのパーセルシェルフは、軽量に造られているため、直接取り付けることは音質上好ましくありません。取付用プレートもしくは市販の補助板で補強することが望ましいです。



使用上の注意

1．このスピーカーには充分な出力をもったアンプを用いてください。

2．低音域に不足を感じたら、取り付け部分が共振していないか。またスピーカーコードの⊕⊖が正しく結線されているか再チェックしてください。

仕　様

●ユニット	11.5cmフルレンジユニット
●インピーダンス	4Ω
●許容入力	45W（rms） 100W（max）
●周波数特性	70Hz～17kHz
●サイズ	208（ø）× 68（Deep）mm（取付用プレート付）〈埋込部分 50mm〉
●重量	950g

保　証

通常の使用状態において発生した故障に関しお買いあげ後５年以内に限り、無償にて修理させていただきます。詳しくは弊社保証書の規定をご参照ください。

■ BOSE BUDDY CLUB（BBC）へ入会ご希望の方は、申込用紙にご記入の上、年会費 600 円分の切手を添えてお申し入みください。

● 製品規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

● 弊社取扱い以外の製品につきましては、保証の責を負いかねますのでご注意ください。

BOSE
Better sound through research.
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-1 三進ビル TEL03-499-0901

'87-1-1K-IP(M)